

三芳の良いもの大集合 吉澤ひとみさんも参加

第36回三芳町産業祭

快晴に恵まれた11月13日(日)、三芳町役場庁舎周辺で産業祭が行われ、約9,000人の来場者が会場に訪れました。三芳町広報大使を務める町出身の吉澤ひとみさんも応援に駆け付け、みよし野菜物販のお手伝い。広報大使2年延長の委嘱式も行いました。「三芳町の野菜は美味しくて安い!」と話し、ふるさと三芳町を堪能していました。



↑品評会で入選した表彰者の皆さんと記念写真。三芳町の野菜は秀逸です。



↓三芳町消防団。仕事に従事しながら地域のために活動を行っています。



↓子どもたちから町長に、感謝の気持ちを込めて花束を贈呈。



消防活動に万全を期するため 入間東部地区消防組合消防特別点検

11月20日(日)、三芳町・富士見市・ふじみ野市の消防団特別点検が富士見市の消防訓練場で行われました。消防活動に万全を期することを目的に、消防団員の人員の服装や規律の点検に加え、消防ポンプ車など機械器具点検を実施。消防ポンプ車操法では、三芳町消防団第3分団が、給水から放水、撤収するまでの操法を行い、日頃の訓練で鍛えた技術を披露しました。

いつもお仕事ごろうさま! こどもたちの職場訪問 in 三芳町役場

11月22日(火)、こすず幼稚園の年長の子どもたちが、三芳町役場へ職場訪問に来ました。子どもたちは役場に興味津々の様子。町長へ花束が贈られるとともに、「町長になるにはどうしたらいいの?」「道路をかってに作って、けいさつには怒られないの?」など、可愛い質問が投げかけられました。今後の未来を担う子どもたち。これからの成長が楽しみです。

念ずれば花ひらく

年頭のごあいさつ

三芳町長

林伊佐雄

念ずれば 花ひらく 苦しいとき 母がいつも口にしていた
このことばを わたしもいつのころからか となえるようになった
そうしてそのたび わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった

—坂村真民

今から二十数年前、愛媛県砥部町の坂村真民先生のご自宅を訪ねたことがあります。いつでも、だれとでも会われ、優しく接してくださった真民先生の姿が胸に焼き付いています。

真民先生の父親は若くして急逝。母親は、どん底の生活を余儀なくされ、極貧の中で長男の真民先生を含め五人の子どもを育てられました。「苦しい辛い」と愚痴をいう代わりに、母親がお経のように唱えた言葉……。『念ずれば花ひらく』です。

新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成29年の新春を健やかに迎え、心からお慶び申し上げます。

昨年は、第5次総合計画が完成し、三芳町の新たなまちづくりがスタートしました。少子高齢化、人口減少社会を迎え、魅力あふれる活力ある町を創り、住んで良かった。愛するふるさと三芳町。に向

けて第一歩を歩み始めました。昨年も住民の皆様、各団体の皆様が、今まで地道に取り組んでこられた努力が、花開き実を結んだ1年でありました。

NPO法人「街のひろば」が子どもの学習支援で埼玉グローバル賞受賞、図書館関係者の尽力による「よみ愛・読書のまち」宣言、武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会発足、産官学連携のSMILE弁当完成販売など数々の花が開きました。

中でも若い人の活躍が目立ちました。第35回全国児童画コンクールにて唐沢小学校3年生の宮腰侑歌さんの作品が文部科学大臣賞を受賞、中学生の税についての作文では藤久保中学校の鈴木佳音さんが国税庁長官賞、また、スポーツでは、リオのオリンピックパラリンピックで車椅子男子バスケットボール日本代表として永田裕幸選手が出場、さらに勝俣陵さん(大

学3年生)が日本オープンゴルフ選手権に、岩崎美紀さん(高校1年生)が日本女子オープンゴルフ選手権に、小笹椋君(大学2年生)が箱根駅伝に出場するなど、三芳町の若き星々が大舞台でデビューしました。

若い人の活躍は三芳町の未来に希望と光を感じさせてくれます。昨日より今日、今日より明日へと、さらに飛躍してほしいと思います。真民先生の言葉に「花は一瞬にして咲かない。大木も一瞬にして大きくはならない。一日一夜の積み重ねの上にその栄光を示すのである」とあります。若い人のさらなる活躍を期待しています。

そして、私たちも、愛するふるさと三芳町を未来の大輪、大木にすべく一心にまちづくりに励んでまいります。

皆様方の益々のご健勝と、ご多幸をお祈りし、年頭のごあいさついたします。

